

令和6年度第1回熊本県地域年金事業運営調整会議 議事要旨

開催日時：令和6年7月23日（火） 14：00～16：00

開催場所：KKR ホテル熊本

出席者：委員11名

日本年金機構11名

1. 開 会 熊本東年金事務所副所長

2. あいさつ 熊本東年金事務所長

3. 委員紹介

4. 議事

議題 1 令和5年度事業実施結果報告

議題 2 令和6年度事業計画

5. その他

- ・令和6年度第2回地域年金事業運営調整会議（令和7年2月予定）の開催について

【資料】令和6年度第1回熊本県地域年金事業運営調整会議資料

【事業概況説明】議事の前に資料に基づき地域年金展開事業の概要について事務局より説明。

【議題1】事務局より資料に基づき令和5年度事業実施結果報告について説明。
（概要は下記のとおり）

- ・地域連携事業として市町村・官公庁、社会保険労務士会、全国健康保険協会、社会保険協会、社会保険委員会、年金協会、自治体・町内会等および企業・団体等との協力連携の現状と今後の取組課題について説明。
- ・年金セミナー事業として教育機関へのセミナーの周知および実施状況、地域年金推進員の活動状況について現状と今後の取組課題について説明。
- ・地域相談事業として遠隔地の市町村での出張年金相談の実施状況、ハローワークでの説明会実施状況について現状と今後の取組課題について説明。
- ・年金委員活動支援事業として実務研修会の実施状況、情報提供（各種啓発資料の送付）の実施、年金委員委嘱拡大に向けた取組状況、年金委員表彰の実施状況について現状と今後の取組課題について説明。
- ・「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組み等について現状と今後の取組課題について説明。

- ・地域年金事業運営調整会議について、令和5年度の開催状況および各委員からのご意見と対応状況について説明。

《令和5年度事業実施結果報告についてのご意見・ご要望・ご質問》

- （九州厚生局）「わたしと年金エッセイ」の有効活用として、年金セミナーの場において生徒さんに資料として配布し、応募に結び付けたいどうか。
また、年金セミナーのアンケート結果を見ると、「公的年金は破綻するのではないか」との不安を抱いている生徒さんがいる。年金セミナーの中で是非、「日本という国が続く限り公的年金は破綻しない」とのPRを行って欲しい。
- ▶（事務局）「わたしと年金エッセイ」の配布および「年金は破綻しない」ことについて頂いた今回のご意見は、今後の年金セミナーに活かしていく。

- （塵岡委員）高校の年金セミナーが少ない。また、年金セミナーを開催した学校は次年度以降も継続して欲しい。

- ▶（事務局）年金セミナー開催について、各学校へ各年金事務所および年金推進員からアプローチしているが、高校においては受験のためのカリキュラムが組まれており、なかなか受入れてもらえない状況。また、他の行政機関が開催するセミナー、例えば「納税教育」などと競合しているため、他に先を取られない対応が必要となる。

なお、コロナの影響で開催を中止していたため、再開が途切れた学校もあり、再開していただくよう取り組みしていく。WEBセミナーもできるので、各学校の要望も聞きながら個別に開催アプローチに取り組んでいく。

- （委員長）地域年金推進員の先生方は中学校での年金セミナーについて、どう感じているか。

- ▶（川原推進員）

中学の社会科で「年金」の部分が3年の3学期の授業となり、年金セミナー開催依頼がどうしても3学期に集中する。また、年金エッセイについても、年金の授業の前に応募が締め切られ（9月締め切り）、年金に関しては生徒が興味を示さない状況。また、各校の年金セミナーの継続性については、担当の先生が異動したり、学年が変わったりすると継続が困難となる。ちなみに、先ほどお話のあった「公的年金は破綻しない」ことについては、

年金の半分は税金でも賄われており、日本が無くならない限り破綻しないことを生徒さんには毎回、伝えているところ。

【議題2】事務局より資料等に基づき令和6年度事業計画を説明。

（概要は下記のとおり）

- ・地域連携事業として、市役所や町役場を中心にポスターやリーフレットの設置、自治体各団体と連携し、制度説明会を実施する。
- ・年金セミナー事業について、セミナー開催アプローチを積極的に行い、オンラインセミナーも推進し、推進地域年金推進員の活用（学校訪問等）を行う。併せて、エッセイ募集への取り組みも積極的に行う。
- ・地域相談事業として、市町村および関係機関（ハローワーク、税務署等）との協力連携を図り、制度説明会や出張相談を実施する。
- ・年金委員活動の活性化・地域型年金委員の委嘱拡大を積極的に行う。
- ・「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組みについて、各年金事務所が創意工夫し、年金制度の普及・啓蒙活動を積極的に実施する。
- ・地域年金事業運営調整会議について、令和6年度の開催予定および主な議事について説明。

《令和6年度事業計画についてのご意見・ご質問・ご要望》

○（小濱委員）当市役所において、チラシ・ポスター（紙媒体）の設置場所が少なくなっており、電子掲示板に変わりつつある。「来ない、書かない」のデジタル化を進めており、スマホ利用度の高い若年層への周知も熊本市の「公式LINE ページ」が利用できればいいと思う。「来てもらう」のではなく、プッシュ型のように「お届けする」のがトレンド。周知方法について年金事務所と協力していきたいので相談して欲しい。また、マイナポータルの「ねんきんネット」の操作が少し難しく、ひとつ引っかけると、やめてしまいたくなるので簡単に操作できるようボタン等を工夫してほしい。

▶（事務局）当機構もチャネル戦略、デジタル化を進めているが、ねんきんネットからのプッシュ通知もまだ活用が進んでおらず、ホームページや周知動画

にしても興味がないと見てもらえない現状。周知方法について、お知恵を借りながら工夫していきたいので引き続きよろしくお願いしたい。また、ねんきんネットについて、使い勝手が良くなるよう本部担当部署に上申していく。

○（委員長）年金相談の内容について、例えば、「物価が上がるのに年金は上がらない」など、窓口では解決できないような内容もある。どういう意見があるのか、内容分類し、教えていただきたい。

▶（事務局）当機構では、お客様からのご意見を「お客様の声」として担当部署にて集約しているところ。皆様にお知らせできるものあれば次回の当会議においてお知らせしたい。

○（九州厚生局）令和 5 年度のハローワークとの連携による説明会の取り組みについて詳しくお聞かせ願いたい。また、令和 6 年度の大学での学生納付特例制度にかかる相談・受付窓口の開設についても詳しくお聞かせ願いたい。

▶（事務局）ハローワークが行う失業者への説明会が、コロナをきっかけに、中止され、年金事務所の参加も困難となった。令和 5 年以降、一部のハローワークで説明会が再開されているが、縮小して再開されている状況もあり、年金事務所の時間がなかなか与えてもらえず、実施件数が上がっていないのが実情。なお、ハローワークの説明会はオンライン方式に移行していくとの話もあり、今後、ハローワークの説明会で年金事務所がどう対応していくかについては、方法等を考えていきたい。

次に、大学での相談・受付窓口の開設については、他県でも行われているように、大学のキャンパスに相談コーナーを設けさせていただき、学生納付特例制度にかかる相談・申請受付を行うもので、熊本でも他県の取り組みを参考に取り組んでいく。

○（塵岡委員）当会議の資料についてはホームページにも公開され、当社会保険委員会で活用させてもらっている。年金セミナーについて、特に高校生に対しては卒業後、20 歳を迎える大事な時期であるので、高校生への年金セミナーを増やすようお願いしたい。

▶（事務局）高校での年金セミナーについて、学校の都合により、できない等の種々の事情はあるものの、開催校を増やしていくよう取り組んでいく。

〈以上、各委員様よりいただいたご質問・ご意見・ご要望を受けた後、全議題とも全委員様からご承認いただきました。〉

【その他】

（事務局より、次回の会議開催方法について提案）

次回、2月開催の令和6年度第2回地域年金事業運営調整会議については、令和6年4月から令和6年12月までの中間報告であること、並びに集合される皆様のご負担を考慮し、「書面」による開催とさせていただきたい。

〈次回の開催方法に係る提案について、全委員様からご承認いただきました。〉

以上